

2022年3月22日
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
ANAホールディングス株式会社

CosmoSkin プロジェクトにて共同開発中のスキンケア化粧品が 国際宇宙ステーション(ISS)搭載を目指す生活用品のアイデアに選定 ポーラ・オルビスグループ×ANAホールディングス

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、社長:鈴木郷史)と ANA ホールディングス株式会社(本社:東京都港区、社長:片野坂真哉)は、CosmoSkin^{※1}(コスモスキン)プロジェクトにて共同開発中のスキンケア化粧品が、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の「第2回宇宙生活/地上生活に共通する課題を解決する生活用品アイデア募集」に選定されたことをお知らせいたします^{※2}。今後両社は、国際宇宙ステーション(ISS)搭載を目指し、製品開発を進めていきます。

※1 宇宙を意味する「Cosmos」と、肌を意味する「Skin」を組み合わせた言葉。

※2 JAXA からの結果発表 <https://humans-in-space.jaxa.jp/biz-lab/news/detail/002031.html>

参考リリース:「宇宙ライフを美しく快適に ポーラ・オルビスホールディングスとANAホールディングス 宇宙でも使える化粧品の共同開発へ」
(2020年9月11日) http://www.pola-rm.co.jp/pdf/release_20200911.pdf

CosmoSkin プロジェクトと製品アイデア

ポーラ・オルビスホールディングスおよび ANA ホールディングスは、宇宙で使える化粧品の開発を行う CosmoSkin プロジェクト(補足資料1)を2020年から共同で行っています。

この度、本プロジェクトで開発中のスキンケア製品が、宇宙および地上に共通する生活課題の解決や QOL 向上に役立つと評価され、JAXA の宇宙生活/地上生活に共通する課題を解決する生活用品アイデア募集においてISS搭載を目指すアイデアとして選定^{※3}されました。本開発では、極度な乾燥や重力が小さいなど、宇宙船内の特殊な環境での使用を想定したスキンケア製品を開発中です。肌を美しく保つ機能と共に、スキンケア行為を通して心も健やかに保つ体験価値を追究しています。

※3 応募総数65件の中から選定されました。



開発メンバーおよび両社役員(オンラインによる打ち合わせの様子)

今後の製品化への取り組み

CosmoSkin プロジェクトでは、2023年以降の国際宇宙ステーション(ISS)への搭載を目指し、JAXAに確認いただきながら開発品の改良や製品テスト等を進めます。

2社の宇宙イノベーションについて

ポーラ・オルビスグループでは、自社グループが目指す将来像に有用なヒントを得ること、またイノベーションの活性化を目的として宇宙に関する取り組みを行っています(補足資料2)。ANAホールディングスでは、新たな収益事業の一つとして宇宙事業を検討する部門横断型プロジェクトを2018年1月に立ち上げ、宇宙旅行を始めとする宇宙輸送や衛星データ活用など新しいビジネスモデルの検討を進めています。

肌を通じてヒトの研究を長年続けてきたポーラ・オルビスグループと、航空産業において創造性を発揮するANAホールディングスがそれぞれの知見を活かすオープンイノベーションに引き続きご期待ください。

【報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先】

(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室

広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp

在宅勤務を推奨しておりますので、お電話が繋がらない場合はメールにてお問い合わせください。

ANAホールディングス株式会社 広報・コーポレート推進部

Tel 03-6735-1111 / Mail houdou@ana.co.jp

【補足資料1】 CosmoSkin プロジェクトによる宇宙環境に向けた製品開発と地上での課題解決について

近い将来、民間宇宙旅行が可能になると言われています。そこで本プロジェクトでは、宇宙ライフを美しく快適にするための化粧品づくりを行っています。さらには、宇宙という極限状態を想定しながら製品開発を進めることで、地上も含めた新しい私たちの豊かな生活につなげることができると考えています。

たとえば、極度に乾燥し水が貴重な船内環境や重力の小さい環境に対応するためには、これまでにない機能性や使用方法が求められます。一方、活動できる空間が限られた船内での微小重力生活では、全身に様々な変化が起こると共に、メンタルウェルネスの維持などが課題となります。これらを解決するための技術は、地上での課題解決にも貢献します。他にも、資源が極端に限られる・ゴミを最小限に減らさなければならないといった制約に合わせて技術を進化させると、そのまま地上における資源の有効活用・再利用などのサステナビリティ向上に活用することが期待できます。

ポーラ・オルビスグループは、肌の知見や製剤技術を活かし宇宙ライフに適した化粧品の研究開発を担い、ANA ホールディングスは、地上よりも宇宙環境に近いとされる航空機内を実証実験の場として提供します。



宇宙での生活を考えた商品開発を通し、不確実な時代の課題を解決するヒントを発見

宇宙船に最も近い空間である機内にて検証

これからの生活に寄り添う製品やサービスを開発
地上も含めた新しい私たちの豊かな生活を実現

【補足資料2】 ポーラ・オルビスグループの宇宙に関する取り組みについて

株式会社ポーラ・オルビスホールディングスでは、2018年にイノベーション促進の役割を持つマルチプルインテリジェンスリサーチセンター^{※4}を発足させたことを機に、宇宙への取り組みを開始しました。自社グループが目指す将来像に有用なヒントを得ること、またイノベーションの活性化を目的としています。また、2020年よりTHINK SPACE LIFE^{※5}コミュニティでの活動を開始し、宇宙と地上双方の暮らしを見据えたイノベーションの検討も行っています。

※4 マルチプルインテリジェンスリサーチセンター (Multiple Intelligence Research Center; MIRC)

化粧品の既存の枠を超えた新価値創出を狙い、グループ視点での研究戦略および知財戦略を策定し、研究成果のグループ最適配分の役割を担います。また、マーケットリサーチとイノベーション案件の探索に特化した専任スタッフを配置し、全世界から次世代のニーズを収集、最先端技術との連携や投資案件の探索を行ないます。

※5 JAXA が推進する、宇宙生活の課題から宇宙と地上双方の暮らしをより良くするビジネス共創プラットフォーム



【補足資料3】 ANA グループの宇宙に関する取り組みについて

ANA グループでは、2018年に宇宙事業化プロジェクトを発足し、宇宙事業の検討を開始しました。

ANA グループにおける宇宙事業の取り組み: <https://www.ana-spaceproject.com/>